



## 副会長就任にあたって

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 副会長 中村 晴江

今年度、2期4年ぶりに、副会長に再任され、その責任の重大性を改めて感じております。歳だけは重ねましたが、再び初心に帰り、自らも学び、努力し、山梨県言語聴覚士会のさらなる発展に寄与できればと考えております。どうぞよろしくお願いたします。

前職退任後の2019年12月に確認されたCOVID-19感染症は、本年9月末現在、全世界の累積感染者数約6.1億人、累積死亡者数約6,500万人となりました。この世界的パンデミックに対し、私たちは徹底した「意識変容」「行動変容」が求められました。基本的な感染対策に加え、「3つの密」の徹底回避、「人との接触を8割減らす10のポイント」などが提案され、まさに日常生活の「パラダイムシフト」を求められました。当然の結果として、医療・リハビリテーションにも「パラダイムシフト」が急速に起きました。そのような厳しい環境の中、臨床業務に加え県士会活動を停滞させることなく展開していただいた理事・各部員の皆様、活動に参加していただいた会員の皆様に深く感謝申し上げます。特にこのような世情の中、失語症者向け意思疎通支援事業では支援者23名（現在8名研修中）を輩出、本年度から派遣事業も開始され、支援を受けた方から非常に喜ばれていると報告を受けております。担当会員及びご協力いただいた当事者の皆様に感謝申し上げます。



さて、今年度は12月に3年ぶりに当士会主催の第14回学術大会「Restart～今求められる新たなSTとは～」（元木雄一朗大会長）がオンライン形式で開催される予定です。また、延期されていましたが失語症全国大会inやまなし（2020年開催予定）も来年の開催にむけて再始動しました。今後もCOVID-19（新たな感染症も含め）との共存をある程度は図る必要があると推測される中、「これまでと違う」状況のnegativeな側面だけでなく、positiveな側面をみつけながら、当士会の活動をより充実したものにできるよう努力をしております。

今後とも県士会活動にご理解をいただき、積極的な参加をお願い申し上げます。皆様と笑顔でお会いできる日を楽しみにしております。

《目次》 P1…副会長就任にあたって	P2・3…第3回山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会
P4…失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修修了者の集い	
P5…令和4年度春期都道府県士会会長会議報告	P6…厚生労働大臣表彰受賞について
P7…ふじやま便	P8…施設紹介
P9…ミニ講座	
P10…理事会報告	P11…各局のお知らせ

## 第3回山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会



山梨県失語症者向け  
意思疎通支援事業運営委員会  
委員長 赤池 三紀子

令和4年7月9日、今年度も「失語症者向け意思疎通支援者養成事業」が始まりました。今回受講者は8名、今までの支援登録者が23名なので今回で県の支援者養成の目安30名が完了する予定です。今回の受講者の中には過去最も若い20歳の看護学生がおり、私たち運営委員もこの事業の今後の展開・継続のために幅広い世代の参加を嬉しく感じています。

しかし、県内でのコロナ感染者数の拡大に伴い、日程や会場の変更を余儀なくされるなど苦労も尽きません。

今年度の外出同行支援練習は、初めてのATM利用支援練習、バス利用練習、岡島百貨店での買い物練習を予定しています。過去にはイオンモール甲府やラザウォーク甲斐で買い物練習、石和温泉のホテルでの外食注文練習等を実施してきました。このような支援実習は支援者の大きな経験になっていることはもちろん、失語症のある方にとっても社会活動としての自信につながり、毎年外出同行を楽しみに待っていただけます。

また、毎回参加いただく1期生からの貴重なアドバイスも有意義な情報交換の場となっています。

令和4年 山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会 日程 (講習 12時間 実習 28時間)

日程	会場	時間	講習内容	時間数
①7月9日(土)	山梨市民会館	10:00~10:30	開講式/オリエンテーション	
		10:30~12:30	失語症概論	2
		13:30~14:30	失語症のある人の日常生活とニーズ	1
		14:45~15:15	意思疎通支援者とは何か	0.5
		15:15~15:45	意思疎通支援者の心構えと倫理	0.5
②7月23日(土)	山梨市民会館	10:00~11:00	派遣事業と意思疎通支援者の業務	1
		11:00~11:40	情報交換	
		12:40~14:40	コミュニケーション支援技法Ⅰ	2
		14:50~16:50	コミュニケーション支援技法Ⅰ	2
③8月6日(土)	国際交流会館	13:30~16:30	コミュニケーション支援実習Ⅰ-①	3
④8月20日(土)	山梨市民会館	13:30~16:30	コミュニケーション支援実習Ⅰ-②	3
⑤9月10日(土)	国際交流会館	13:30~16:30	コミュニケーション支援実習Ⅰ-③	3
延期				
⑥10月1日(土)	福祉プラザ	10:00~11:00	外出同行支援	1
	Co-Warking	11:00~16:00	外出同行支援 実習①	5
⑦10月29日(土)	国際交流会館	10:00~16:00	コミュニケーション支援実習Ⅰ-④⑤	6
⑧11月12日(土)	山梨市民会館	13:00~17:00	身体介助の方法	2
	303号室		身体介助実習	2
⑨11月26日(土)	国際交流会館	10:00~16:00	コミュニケーション支援実習Ⅰ-⑥⑦	6
⑩12月10日(土)	岡島	12:30~15:30	外出同行支援 実習② 岡島買い物	3
	談露館	16:00~16:45	修了式 談露館	



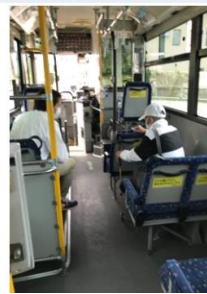
# 支援者派遣が始まりました

県内では今年度から支援者派遣事業が予算化され、甲府市・都留市・韮崎市・南アルプス市・北杜市・甲斐市・笛吹市・中央市・市川三郷町・身延町・南部町・富士川町・昭和町の13市町が準備を進めています。そして、第1回目の派遣が5月26日に甲府市にて実施されました。その様子は6月12日付の山梨日日新聞にて「失語症者に同行手助け」として取り上げられ、失語症への理解が広がる第一歩が刻まれました。

また、その報告会を6月22日に県立図書館にて実施、1期生8名、2期生4名、県障害福祉課1名、甲府市障害福祉課2名と言語聴覚士10名が参加しました。実際の報告を受けた質疑の多くが事前準備やコミュニケーション支援での伝え方の工夫についてなど現実的なものばかりで、派遣がいよいよスタートするという実感を伴った支援登録者の心配や心積もりが反映されていました。

## 第1回支援者派遣と報告会の様子

日・時刻	内容・場所	役割	注意点・配慮すべき点	日・時刻	内容・場所	役割	注意点・配慮すべき点
5月26日 9:00	S様自宅 派遣者 到着	予定確認・打ち 合わせ・準備・歩 行能力の確認	・挨拶をする。・本人とどのような行程で眼科まで行くのか、帰ってくるのかを確認。 ・障害者手帳の利用の有無や持参する持ち物や金額などの声掛け。	5月26日 9:10～ 9:40 (約30分) (山宮公民館9: 26～県営アパ ート前9:36片道 310円)	S様自宅からバス 停へ バス停から眼科	徒歩・バスにて 移動する	・障害物にぶつかったりしないよう、行き交う自動車等への配慮と共に、空間認知・視野等に配慮して、本人の希望する位置・安全が確保できる位置に就いて移動する。疲労感等に気を配る。 ・バス乗降時には立ち位置に気をつけて見守る。 ・必要時には座席への誘導。 ・支払準備、本人に実際にバス料金を支払っていただく。



その後も甲府市では9月9日までに5回目の支援者派遣が終わりました。失語症のある方2名がこの派遣同行支援を繰り返し利用され、眼科受診や薬局での処方薬の受け取りの補助支援をしてもらいました。2名とも「一緒にいてもらって（相手から）言われたことも理解できるようにしてくれたので安心してできた」と、この後から一人でバスに乗ることもでき、自立した活動につながっています。

失語症を持つ方の活動にこんなに変化をもたらすこの事業について、改めて言語聴覚士として感動しています。この地域生活支援事業で失語症を支えるのも私たちの役割ですね！！



# 失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修修了者の集い

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 会長 内山 量史

2022年7月23日(土)10:00~12:00まで「令和4年度失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修修了者の集い」がオンラインで開催されました。7月23日は当会での失語症者向け意思疎通支援者養成研修会の2回目が実施されましたので当会を代表して出席しました。

本研修者の集いは①2021年度のアンケート報告、②士会からの状況報告(岡山県・東京都・神奈川県)という2部構成で開催されました。

## 1. 2021年度のアンケート報告

日本言語聴覚士協会が2022年2月~3月に実施した「失語症者向け意思疎通支援事業の実施状況調査報告」について立石雅子副会長から報告がありました。

意思疎通支援者養成研修(必修科目)の実施状況については、実施している(したことがある)が42士会でした。今年度の支援者養成研修(必修科目)についても42士会が実施と回答されており、多くの都道府県で意思疎通支援者養成研修が行われています。また、「研修会の一部をリモートで実施している」や「外出同行支援実習実施が難しい」などのコロナ禍における影響や工夫についても報告されました。当会でも実施しているフォローアップ研修(選択科目研修とは別途)については11士会で養成研修修了者のスキルの維持・向上や派遣事業へのモチベーション維持のために実施されている現状です。支援者派遣事業実施については10士会で開始されており、友の会への参加や病院受診で活用されていました。

## 2. 士会からの状況報告(岡山県・東京都・神奈川県)

派遣事業が展開されている岡山県、東京都、神奈川県からの報告がありました。岡山県は2021年度の派遣延べ人数が25件あり、派遣事業の周知のためにチラシを作成し各市町村や保健医療福祉施設に配布したり、SNSの活用や市町村の広報誌、地元新聞、TV、ラジオなどでの広報活動を展開していると報告がありました。東京都ではモデル事業として都内2カ所にサロンを開設し、失語症の方々が集い、意思疎通支援者の支援を受けながら会話する場を創設している状況と支援者のサロン支援(派遣)の流れについて報告がありました。神奈川県からは失語症者向け意思疎通支援者派遣事業3年間のあゆみとして108件の派遣実績と支援の内訳について報告がありました。支援の内容としては失語症友の会・サロンでの支援が70%であり、30%が通院、行政窓口などへの同行支援という結果でした。

山梨県では13市町が派遣事業の予算化が決定しており、当会との契約締結も済ませています。甲府市では派遣事業がこれまで5回実施されており、当事者の生活のしづらさの解消以外にも地域で生活をおくる自信となり、行動範囲の拡大にもつながっているとの報告がされています(本ニュース2頁~3頁)。多くの市町で派遣事業が展開され失語症のある方の生活が明るい光で包まれることを祈念しています。

## 令和4年度 失語症者向け意思疎通支援者 指導者養成研修修了者の集い

### 【スケジュール】

2022年7月23日(土)10:00~12:00

- ・2021年度のアンケート報告
- ・士会からの状況報告(岡山県・東京都・神奈川県 各士会15分程度)
- ・質疑応答

一般社団法人 日本言語聴覚士協会

## 令和4年度春期都道府県士会会長会議報告

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 副会長 赤池 洋

令和4年7月2日(土)、オンラインにて春期都道府県士会会長会議が開催されました。内容は以下の通りとなります。

1. 失語症者向け意思疎通支援事業の実施状況調査について報告された。また、失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修修了者の集い(7月23日)、失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修会の開催(10月22日、23日)、都道府県士会会員と協会会員との一致化について各都道府県士会に向けたアンケート調査が今後行われることが報告された(総務部)。
2. 令和2年度・令和4年度診療報酬改定の実態調査への協力依頼があった。「令和4年度実務者講習会：基礎編」の開催について広報された(医療保険部)。
3. 第1回地域リハビリテーション活動支援に関する都道府県士会担当者情報交換会の開催について報告された。リハビリテーション専門職団体協議会による訪問のリハビリテーション提供事業所調査(仮)への協力依頼があった(介護保険部)。
4. 令和4年度障害福祉(福祉事業所・小児医療療育施設)連絡協議会の開催(令和5年2月18日)、乳幼児健診ハンドブックの作成について報告された(障害福祉部)。
5. 学校教育啓発リーフレットの完成・発送とHP掲載、学校教育連携担当者連絡協議会の開催(12月10日)、広報誌(STAND UP)での特別支援教育のST連載について報告された(学校教育部)。
6. 全体ディスカッションでは①言語聴覚士学校養成所指定規則②都道府県士会会員と協会会員の一致化について活発な意見交換がされた。
7. 第23回日本言語聴覚学会(新潟県)では、総参加登録者2109名(現地参加681名)が参加されたと報告があった。第24回日本言語聴覚学会は令和5年6月23日(金)、24日(土)に愛媛県で開催されることが報告された。

詳細は協会ホームページや情報誌 STANDUP をご覧ください。今後も協会と結束しながら事業展開をしてまいります。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 厚生労働大臣表彰受賞について

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 会長 内山 量史



令和4年3月13日、都市センターホテルコスモスホールにて、一般社団法人日本言語聴覚士協会創立20周年記念式典が行われました。式典では言語聴覚士として初の厚生労働大臣表彰が14名に授与され、当会推薦の赤池三紀子副会長が受賞されました。

赤池三紀子副会長は当会設立時の1999年より副会長の大役を20年以上続けてこられ、保坂敏男前会長、私を支えながら理事会に大きなパワーや推進力を与え続けてきています。特に人材育成や渉外活動をはじめ被災地支援や失語症友の会「ふじやま」の設立、失語症者向け意思疎通支援事業など多くの事業に精力的に関わっていただきながら山梨県の言語聴覚士の認知度向上や言語聴覚療法の普及に尽力されてきました。これまでの活躍に対しての厚生労働大臣表彰の受賞は当会としても名誉なことであり、赤池三紀子先生の更なるご活躍を祈念いたします。





# ふじやま便 No.6



山梨県言語聴覚士会が運営する失語症友の会「ふじやま」は、平成30年7月7日に設立し、今年で5年目を迎えました。令和4年9月末の正会員は、当事者17名、ご家族6名の23名になります。これまで、定例会では新年会・お花見・ぶどう狩り・創作料理体験・カラオケ大会などの様々な活動を通して、会員の皆様同士、交流を深めて参りました。



令和元年3月 お花見



令和元年9月 ぶどう狩り



令和2年1月 新年カラオケ大会

現在、新型コロナウイルス感染拡大により、「仲間と会ってお話をする」「歌を歌って楽しむ」「一緒に食事をとって団らんする」といった活動が制限され定例会が行えない中、近年は山梨県の委託により行っている「失語症者向け意思疎通支援者養成講習会」のコミュニケーション支援実習への協力を通して、バスに乗ってショッピングモールへ出かけたり、電車に乗る経験をしたりと、社会活動への参加の喜びや支援者への期待は高まっています。



令和2年11月 年賀状作り



バスへ乗車し、買い物へ



ショッピングモールへ買い物

会員皆様から届く「集まりたい」「語り合いたい」という待ち望む声にしっかりと応えられるよう、できる活動を模索しながら、一日も早い定例会開催を目指していきたくと思っています。

作成：「ふじやま」運営委員会



## 施設紹介

医療法人立史会介護老人保健施設ノイエス 内藤 宜子

ノイエスは、長期入所（100床）・デイケア（定員40名）・短期入所・訪問リハビリテーション・居宅介護支援事業所、派遣事業・地域委託事業を行っている介護老人保健施設です。また敷地内に、10床の有床診療所（今井クリニック）を併設し、介護の医療的側面を支え、安心安全な介護につとめています。

1階は30名定員の認知症専門棟です。認知症に関する専門的な知識や技術を学んだ職員を主に配置しています。2階は定員30名、3階は定員40名の一般棟です。

1階・2階には機能訓練室を設け、入所・通所の利用者様がリハビリに励んでいます。専門職によるリハビリテーションはもちろん、普段の生活の中でも利用者自身で行っていただけることを探しながら、役割を持って生活していただけるように心がけています。

言語聴覚士は栄養課に所属し、管理栄養士と密に連携をとり、また、ミールカンファなど多職種で食支援に取り組み、利用者様の安全な食事提供を行っています。



-----

合同会社むすぶ 放課後デイサービスむすぶ 石原 悠香

合同会社むすぶでは、小児から成人までの幅広い年齢の方を対象に本人の想いを大切に、住み慣れた地域で生活が送れるよう支援をしています。

### ✿放課後デイサービス

重度の障がいがあるお子様を対象に活動・リハビリ・入浴などのサービスを提供しています。活動では、季節に合わせたイベントやアート活動などをお子様と一緒に楽しんでいます。

むすぶ：リハビリに特化した支援を行っています。PT・OT・STにて、お子様一人ひとりの生活に寄り添った個別・集団リハビリを実施しています。

あゆむ：お子様に合わせて機械浴または一般浴にて入浴支援を中心にサービスを提供しています。

### ✿生活介護事業所ひびき

PT・OT・STによるリハビリや入浴といった身体のケアを中心とした支援を行っています。

### ✿相談室つなぐ

障がいをお持ちのご本人やご家族の想いや希望を聞き取りながら地域でご本人らしい生活ができるための計画相談の作成等を行っています。また、生活全体を応援するチーム作りができるように頑張っています。





## 三二講座

# 干渉電流型低周波治療器 『ジェントルスティム』 のご紹介

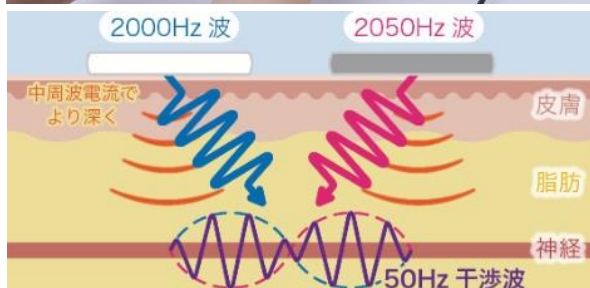
株式会社フードケア 山梨県営業担当 花井 健司

平素より貴会の皆様には大変お世話になっております。

株式会社フードケア 山梨県営業担当の花井と申します。弊社は 1997 年に創業した介護・治療用食品のメーカーで、山梨県下でも多くの病院・施設様に『ネオホワイトロミール』や『スベラカーゼ』をご利用頂いております。そして企業理念として掲げております「おいしい、もぐもぐ、ごっくん。私たちは食べる喜びを支え笑顔を作り続けます。」を具現化するために、現在では製品ラインナップも食品に留まらず「口腔ケア」や「医療機器」の領域まで広がっております。



今回はこれらの中から医療機器の『ジェントルスティム』をご紹介します。



『ジェントルスティム』は摂食嚥下のリハビリテーションの手技の一つとして、安心してご利用いただける医療機器です。製品名の通り“やさしい刺激”が特徴で、痛みを伴わない治療を可能としました。

ジェントルスティムは 1 組の電極から 2050Hz を、もう 1 組の電極から 2000Hz を出力します。そしてこれらを体内で交差（干渉）させることで、患部にその周波数の差に相当する低い干渉電流（50Hz）が発生し、この干渉電流による刺激を利用して治療を行う装置になります。中周波領域の周波数を使用しているため、皮膚抵抗値が低くなり、通電の際の痛みが少なく、患者様に抵抗なく受け入れて頂けるものと考えております。

ご興味のある方にはデモ機の貸出しや、製品説明会を承っております。  
下記URL、またはQRコードよりお申込ください。

※ジェントルスティム問合せURL <https://medeq.food-care.co.jp/contact.html>

※ジェントルスティム問合せQRコード



## 第1回 理事会議事録

日 時：令和4年4月8日(金) 19時00分～20時09分  
出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、石垣、池神、市川、桂川、  
佐々木、高橋、中嶋、舟越、元木、山田、吉澤、河西  
<協議事項>

1. 令和4年度社員総会は、湯村温泉病院の多目的ホールを会場とし少人数で開催していくことが決定した。理事はZoomで参加し会員は書面表決などで参加することとなった。
2. 令和4年度総会議案書について、今年度より外部に印刷を依頼することが決定した。
3. 定款第25条4項、第41条の変更を社員総会で議案として提出することが決定した。
4. 第14回学術大会の日程が令和4年12月11日(日)に決定した。

<報告事項>

1. 令和4年度の社員総会の資料の確認・修正を行った。
2. 令和4年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修募集チラシが完成したことが報告された。

## 第2回 理事会議事録

日 時：令和4年5月20日(木) 19時50分～20時40分  
出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、石垣、池神、市川、桂川、  
佐々木、高橋、中嶋、舟越、元木、山田、吉澤、河西  
<協議事項>

1. 代表理事(会長)に内山量史理事が選定された。
2. 副会長に赤池三紀子理事、赤池洋理事、中村晴江理事が選任された。
3. 令和4・5年度の役員(部局長・委員長)が決定した。
4. 日本言語聴覚士協会・行政・関係他団体関連の当会委員について確認し決定した。
5. 災害時安否システム第1回予行練習を6月6～13日に行うことが決定した。
6. 第14回学術大会について以下のとおり決定した。  
開催日：令和4年12月11日(日)午後半日開催  
方 法：Zoomによるオンライン開催  
定 員：100名(講師を含む)  
参加費：県士会員、非会員ともに無料。  
抄録集：県士会員へは送付。非会員はホームページから一定期間ダウンロードできるようにする。

## 第3回 理事会議事録

日 時：令和4年6月17日(金) 19時00分～20時30分  
出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、中村、石垣、市川、桂川、  
佐々木、高橋、舟越、元木、吉澤、河西

欠席理事：山田

<協議事項>

1. 令和4年度外来リハ・訪問リハ・訪問看護・通所リハ・通所介護に関する実態調査について昨年同様の質問項目とし、7月1日にメールで送付、7月22日締切とすることが決定した。
2. 第14回学術大会の名義後援を12団体に依頼することが決定した。

<報告事項>

1. 関東圏都県士会会議、令和4年度一般社団法人日本言語聴覚士協会定時社員総会、山梨県民間病院協会PTOTST部会第1回理事会、第1回インクルーシブ教育システム推進連携会議の開催が報告された。

2. 失語症者向け意思疎通支援事業運営委員会より、令和4年度チラシ配布作業、申込者選考、受講者決定通知書の送付を行ったことが報告された。
3. 第14回学術大会第1回実行委員会の開催、大会テーマ、プログラムについて報告された。

## 第4回 理事会議事録

日 時：令和4年7月15日(金) 19時00分～20時55分  
出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、中村、石垣、市川、桂川、  
佐々木、高橋、舟越、元木、吉澤、河西

欠席理事：山田

<協議事項>

1. 症例検討会は昨年度からの発表希望者を優先し各回2名ずつ発表すること、今年度も希望者を募集しバイザー制度も継続していくことが決定した。
2. 学術講演会の講師について検討した。
3. 基礎講座は、今年度4講座、次年度は6講座実施することとなった。
4. 県立図書館への寄贈書籍が「実践力を高める 成人言語聴覚療法ハンドブック」、「絵でわかる言語障害 言葉のメカニズムから対応まで 第2版」の2冊に決定した。
5. 県士会ニュース53号の掲載内容が決定した。
6. 第14回学術大会実行委員会より提出された下記の内容が承認された。
  - ・予算案
  - ・倫理的要綱について抄録に記載する。
  - ・発表時間、質疑応答ともに7分とする。
  - ・一般演題は当日にオンライン発表となるが、トラブル回避のために事前に動画提出を依頼する。

<報告事項>

1. やまなし地域リハーケアの推進を考える会、令和4年度外来リハ・訪問リハ・訪問看護・通所リハ・通所介護に関するアンケート調査送付、日本言語聴覚士協会令和4年度春期都道府県士会会長会議、クローバーの会賛助会員(協賛金)納入、一般社団法人ヴァンフォーレススポーツクラブこども夢プロジェクト法人会員会費納入について報告された。
2. 「地域リハ活動支援推進のための人材育成事業 導入研修」を10～11月の4日間、オンラインにて開催していくことが報告された。
3. 令和4年度第1回失語症者向け意思疎通支援者養成講習会の開催、派遣支援報告会、甲府市派遣支援2回目実施について報告された。

開催方法：Zoom システムによるオンライン会議  
議 長：内山量史  
書 記：廣瀬李菜、高橋里実、佐藤淳貴、望月智佳  
議事録作成：河西祐子

## <各局からのお知らせ>

### 事務局

- ・会員動向（令和4年9月末現在）  
正会員数139名、賛助会員7団体
- ・会費納入のお願い  
今年度も3/4以上の会員が会費納入を済ませてくださっています。これからの方は佐々木財務部長へご連絡いただくか、下記口座へお振込みください。（年会費：10,000円）ご協力をよろしくお願いいたします。
- ・休会届について  
育児や介護、健康上の理由などの事情がある場合には、休会申請（会費免除）が可能です。休会申請は、休会しようとする年度の前年度の12月末日までに手続きを行っていただく必要があります。申請用紙は県士会HPからダウンロードすることができます。ご不明な点は事務局（総務部 河西 [st@kasugai-reha.com](mailto:st@kasugai-reha.com)）までお問い合わせください。

金融機関名	山梨中央銀行
支店名 店番	石和支店 305
口座名 番号	普通 950758
名称	一般社団法人山梨県言語聴覚士会 シヤ・ヤマナシケンゲンゴチヨウカクシカイ

### 学術局

本年もZoomを用いたオンラインでの実施が中心となります。会員の皆様のご参加をお待ちしております。宜しくお願致します。

#### <教育部>

- ・第1回 新卒者研修会  
日 時：令和4年9月30日（火）18:45~20:00  
会 場：Zoomで開催  
内 容：言語聴覚士の職務と役割  
講 師：内山量史先生（春日居サイバーナイフ・リハビリ病院）
- ・第2回 新卒者研修会  
日 時：令和4年10月  
会 場：Zoomで開催  
内 容：対人コミュニケーション  
講 師：中村晴江先生（甲府城南病院）
- ・第3回 新卒者研修会  
日 時：令和4年11月  
会 場：Zoomで開催  
内 容：認知症サポーター養成講座  
講 師：山田徹先生（笛吹中央病院）
- ・第4回 新卒者研修会  
日 時：令和4年12月  
会 場：Zoomで開催  
内 容：高次脳機能障害、失語症  
講 師：桂川謙祐先生（甲府城南病院）  
元木雄一朗先生（甲州リハビリテーション病院）
- ・第5回 新卒者研修会  
日 時：令和5年1月  
会 場：Zoomで開催  
内 容：SLTA  
講 師：大室陽佳先生（甲州リハビリテーション病院）  
元木雄一朗先生（甲州リハビリテーション病院）
- ・第6回 新卒者研修会  
日 時：令和5年2月  
会 場：Zoomで開催  
内 容：摂食嚥下障害  
講 師：佐々木蘭子先生（春日居サイバーナイフ・リハビリ病院）

- ・第7回 新卒者研修会  
日 時：令和5年3月  
会 場：Zoomで開催  
内 容：構音障害  
講 師：石垣亮太先生（甲斐リハビリテーションクリニック）  
萩原由香先生（山梨リハビリテーション病院）

#### <生涯研修部>

##### ○学術講演会

- ・第1回 学術講演会  
会 場：Zoomで開催  
日 時：令和4年11月22日（火） 18:30~20:00  
内 容：「コロナ禍におけるメンタルヘルスとセルフケア」  
講 師：池田美樹先生（桜美林大学）

##### ○症例検討会

- 会 場：Zoomで開催  
日 時：奇数月の第3木曜日
- ・第2回：令和4年11月17日
- ・第3回：令和5年1月19日
- ・第4回：令和5年3月16日

##### ○基礎講座

- ・第1回基礎講座  
会 場：Zoomで開催  
日 時：令和4年10月27日（木） 18:30~21:00  
内 容：「協会の役割と機構」、「言語聴覚療法の動向」  
講 師：内山量史先生（春日居サイバーナイフ・リハビリ病院）  
赤池洋先生（山梨大学医学部附属病院）

### 社会局

社会局は渉外部、広報部、会報編集部・ホームページ管理部の3部体制で活動しています。

#### <渉外部>

- ・令和4年度春期都道府県士会会長会議がオンラインで開催され、当士会代表として赤池洋副会長、協会代表として内山会長が参加されました。
- ・失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修修了者の集いがオンラインで開催され、当士会代表として内山会長が参加されました。
- ・やまなし地域リハケアの推進を考える会の会議がオンラインで開催され、内山会長、赤池三紀子副会長、舟越理事が参加されました。
- ・令和4年7月に実施しました「外来リハ、訪問リハ、訪問看護、通所リハ、通所介護に関する実態調査」の結果を受けて、県士会ホームページの「言語聴覚士がいる病院・施設」に掲載してあります。ぜひご覧いただき、周囲の関係者の方にご活用いただけますようお願いいたします。会員の皆様、ご協力ありがとうございました。

#### <広報部>

- ・山梨県内の高校へST協会と当士会のリーフレットを送付しました。
- ・内山会長、高橋理事が山梨県立図書館に書籍を寄贈しました。
- ・「いきいき山梨ねんりんピック2022」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催方法を変更し、競技種目ごとに開催時期を分散した「分散開催」となりました。各市町村や団体からの出展イベントは開催しないこととなりました。
- ・イベント活動に制限が出ていますが、感染対策に努めたうえで一般の方々に向けた言語聴覚療法の広報及び啓発活動を行っていきます。

#### <会報編集部・ホームページ管理部>

- ・会報誌「県士会NEWS53号」の発行を行いました。会報誌を通じて県士会活動の周知だけでなく会員間のコミュニケーションツールとして情報を伝えていきたいと思っております。
- ・ホームページでは多くの方々に一層興味を持っていただけるような内容にし、県士会や言語聴覚士の広報活動の一助となるように情報の収集・発信を推進していきます。

**在宅 HEALTH CARE FOOD 通信販売**

病院で使われている医療・介護用食品をご家庭にお届けしています。

高栄養・やわらかい飲み込みやすいサポート  
12ヶ月保証  
送料無料セット

↑カタログのご請求はこちらからどうぞ！

はつらつ食品カタログにはやわらかさの程度や形態別に分類されたおかずやデザート、とろみ調整食品や濃厚流動食品が掲載されています。また、栄養指導で役立つコラムも多数ご紹介しています！

☑ 噛むこと、飲み込むことが苦手な方に  
☑ 飲食時によくむせる方に  
☑ 食の細い方に

株式会社ヘルシーネットワーク  
〒191-0024 東京都日野市万願寺1-34-3  
TEL 0120-236-977  
FAX 0120-478-433

受付時間 月～土 9:00～17:00 (日・祝日は休業日となります)  
ヘルシーネットワーク 検索  
https://www.healthynetwork.co.jp

おかげさまで40周年

●認定補聴器技能者在籍  
●補聴器の無料体験  
●支援法補聴器取り扱い

写真：シグニア補聴器 スタイレット 充電式

認定補聴器専門店  
**なかだて補聴器センター**

甲府店 ☎0120-29-3321 玉穂店 ☎0800-800-8173  
甲府市中央5丁目2-29 中央市若宮29-3 T-ウエスト

**ジェントル スティム**

リハビリテーションのための新たな電気刺激装置

痛くない療法  
感覚刺激  
使いやすい

株式会社ヘルシーネットワーク  
TEL: 042-700-0039 www.food-care.co.jp

Platz  
STAND UP! 30th Anniversary

誤嚥リスクの低減  
新しい背上げ  
ハイバックサポート機能

ASPINO  
アスピーノ

医療・介護ベッドメーカー  
株式会社プラッツ

■関東支店 / 関東ショールーム  
〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1 TRCセンタービル7階  
TEL: 03-5763-5425 FAX: 03-5763-5426  
■福岡本社 ■北海道 ■宮城 ■東京 ■愛知 ■大阪 ■広島

私たちはシャント発声のプロフェッショナルです

喉頭を摘出された方々のQOL向上のために、シャント発声のリハビリテーションや患者さまを対象にした勉強会を行っています。シャント発声について興味のある言語聴覚士の皆さまには、実際のリハビリテーションの様子や勉強会を公開しておりますので、お気軽にお問合せください。

株式会社アトスメディカルジャパン  
〒104-0033 東京都中央区新川1-3-17 新川三幸ビル2F  
tel 03 4589 2830 / fax 03 5540 0890  
info.jp@atosmedical.com

Pepti-Sal  
Oral Health for Everyone

唾液のチカラで健康と笑顔を

デリケートなお口をやさしくケアしお口の環境を健康に保ちます

Pepti-Sal (ペプチサル) とは「Peptide (ペプチド)」+「Saliva (唾液)」の造語。唾液のチカラに着目して開発された低刺激性のオーラルケア製品です。要介護の方の口腔ケアにもおすすめです。

Pepti-Sal MouthGel  
Pepti-Sal Mouthwash  
Pepti-Sal Toothpaste

T&K ティーアンドケー株式会社  
www.comfort-tk.co.jp

morinaga

消費庁許可 えん下調整食品  
とろみ調整用食品

売上 No.1  
2018年度とろみ調整区分 (株)シード・プランニング調べ

つるりん Quickly

飲み込みにくいとを感じる方が、安心しておいしく水分や栄養を摂取するために

0120-52-0050  
受付時間：平日 9:30～17:00 (土日祝日・年末年始・5/1 除く)

森永乳業グループ病態栄養部門  
株式会社クリニコ

一般社団法人山梨県言語聴覚士会ニュース

<発行所> 一般社団法人 山梨県言語聴覚士会  
<発行人> 内山量史  
<編集> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 社会局会報編集・HP管理部

石和共立病院 原田史佳  
春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 志摩美月  
甲府城南病院 秋山仁哉・桂川謙祐  
湯村温泉病院 河村有美  
山梨大学医学部附属病院 真木建汰  
赤池洋

<事務局> 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 言語療法科内  
〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436  
TEL0553(26)4126 FAX0553(26)4366

<発行日> 2022年11月1日 第53刊